

# ふくしのヒツギさん

はじめての介護 ドタバタ奮闘記



# ふくしのヒツジさん

はじめての介護 ドタバタ奮闘記



浪速松楓会

浪速松楓会とは

大阪市東住吉区の社会福祉法人。  
2006(平成18)年に創設。現在、  
生野区・東住吉区にて、7つの介護  
事業所(特別養護老人ホーム 寿幸  
苑、小規模・グループホーム サボ  
テンの花、サービス付き高齢者向け  
住宅 ライフェル駒川、ケアステ  
ーション ライフェル、寿幸苑 居宅介  
護支援事業所、寿幸苑ヘルパー  
ステーション)、保育園(まつとかえ  
での保育園)を運営。

本書では、浪速松楓会が大切にして  
いる6つの行動指針を紹介しています。  
私たちが毎日向き合う相手は、みんな  
それぞれ違う人。土いじりが好き  
だったり、お酒が好きだったり。歌  
が嫌いな人がいたり、昔は学校の先生  
だった人がいたり……。私たちが  
ケアで目指すことは、そうした一人  
ひとりの「居場所」をつくることです。  
そして、「居場所」をつくるケアは、  
職員みずからが本音で感じたこと、  
心からこうしたいと思えることを考  
え、行動し、夢中になれる職場を  
生み出すことから始まると考えて  
います。そんな私たちが大切にして  
いる考え方や行動指針を、迷える  
ヒツジの成長ストーリーとして一冊に  
まとめました。舞台は浪速松楓会の  
特別養護老人ホーム。物語は入社  
3年目の主人公が新人研修を担当  
する場面からはじまります――。

## 登場人物紹介



主人公

ヒツジさん

新卒入社した勤務3年目の介護士。高齢者介護の仕事にはじめて就いた1年目は、迷える子羊として日々大奮闘。



先輩

ウサギさん

主人公が憧れるユニットリーダー。仕事が早く、後輩スタッフや入居者からの信頼も厚い。



入居者

トラさん

野球が大好きで、気は優しいが頑固者。初対面の主人公に強く当たる場面もあったが……。



入居者

イノシシさん

元ラグビー選手で、こうと決めたら真っ直ぐ突き進むおじいさん。数年前に愛妻を亡くした。



同僚・親友

ネコさん

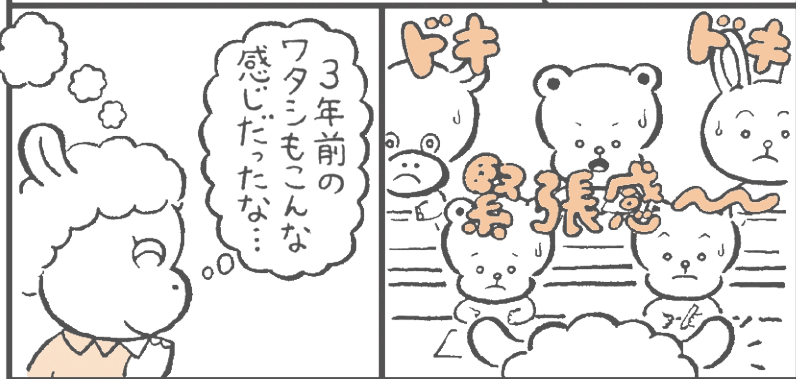
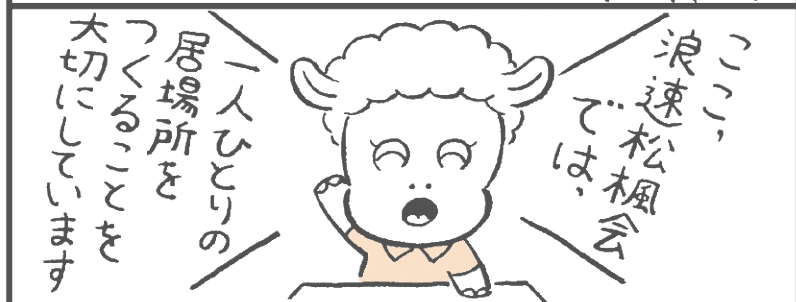
主人公と同期入社介護士。気まぐれで大胆な性格は主人公と真逆だが、なぜか馬が合う。



先輩

カメさん

マイペースだけど聞き上手なベテラン介護士。どんなときも楽しむことがモットー。



これから  
よろしくお願  
い  
します!!

ガラッ  
オハヨー  
ゴザイマス

りは  
じめな  
さん  
です!!  
ウサギ

・ミッション  
(私たちの存在意義)  
一人ひとりの居場所が  
生まれる毎日へ

・ビジョン  
(私たちのありたい姿)  
ありのままを認め合い  
夢中になれることを  
応援する場所

浪速松楓会がみんな  
大切にしていること

・バリュー(私たちの行動指針)  
日々の判断や行動の基準となる  
6つの行動指針

- ① 誠実であること
- ② 互いに支え合うこと
- ③ 問い続けること
- ④ 自分に気づくこと
- ⑤ 耳を化負けること
- ⑥ 失敗を恐れず  
チャレンジすること

朝み!!  
わっ!!

コケ  
コッ  
コッ

3年前:  
キラキラ

あ〜浪速松楓会  
て  
どんなところなんやろ?

ドタバタ〜

いけない!!  
寝坊しちゃった!!

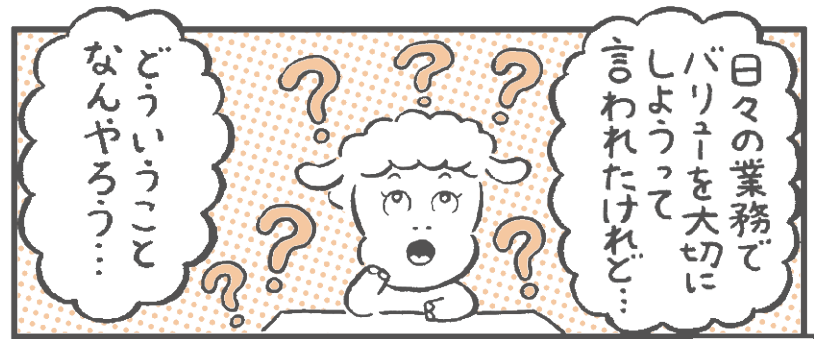
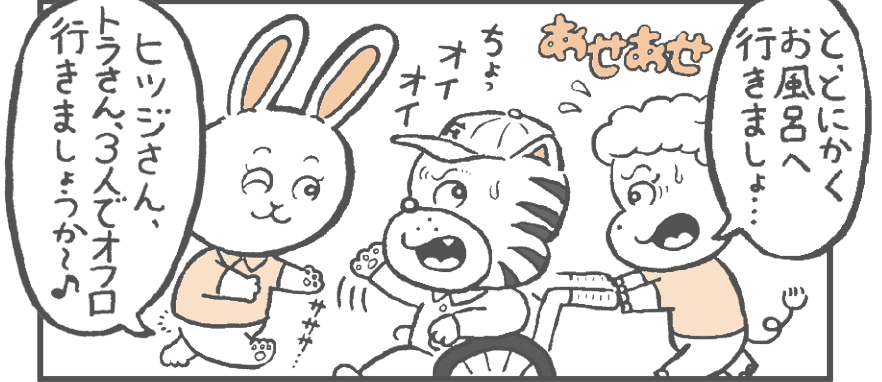
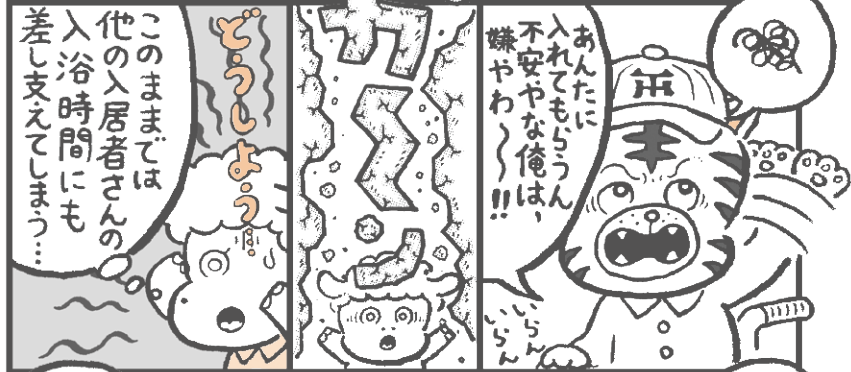
ガラッ

おはよう  
ございます!!

お母さん  
くらゐの人も  
いるんや...

同年代くらゐの  
人もおるけど...





入社から2ヶ月  
経った梅雨の時期

プリント

雨ですわね

何をやっても  
うまくいかん...

私ここに居て  
いいのかな...  
向いてないのかな...

こんなとき、  
どうするのが

良い選択  
なんだろう...

そして、なんとか  
現場に慣れようと  
がんばるヒツジなの  
だったが...



あ、あの...  
何か用事は...

あれも  
忘れてた!!

これも  
忘れてた!!

先輩のように  
いろんな業務に  
チャレンジしたい  
けど...

全然余裕  
がないし、  
ムリムリムリ  
!!!



ご家族に伝えるために  
入居者さんの気になる  
ところのメモをとってるねん...

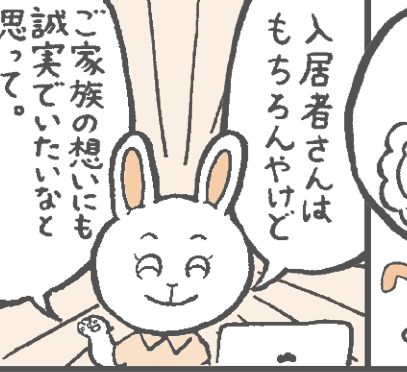
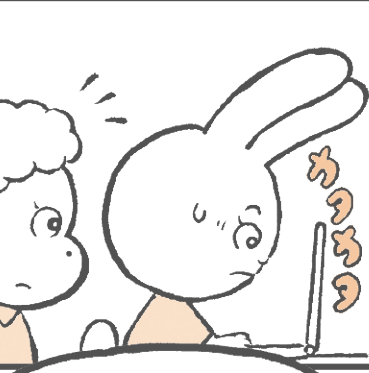
入居者さんは  
もちろんやけど

ご家族の想いにも  
誠実でいたないと  
思ってる。

ウサギ先輩  
何してるんですか?

?

うさぎ





行動指針 ①

誠実であること

利用者さん、ご家族、地域の方々、ともに働く仲間たちなど、関わるすべての人や活動に対して、誠実に向き合っていく姿勢を大切にしましょう。

なんでも完璧にこなすユニットリーダーのウサギさんですが、その背景には、日々コツコツと重ねる試行錯誤がありました。何をやってもうまくいかないと落ち込む主人公は、そんなウサギさんの小さな努力を知り、「自分にできることはなんだろう」と考えるようになりました。

周囲の人や出来事に対して、誠実に向き合っていくこと。

それは、日々の小さな積み重ねからはじまるのかもしれない。小さな努力や積み重ねも、見ている人が必ずいます。一瞬一瞬の誠実さを大切にしていきたいでしょう。





仕事に慣れてくると  
少しずつ入居者さん  
一人ひとりの個性も  
見えてきた



楽しくおしゃべりする  
時間もあれば  
寂しそうな顔を  
見かける時も



それぞれの想いを  
知ることがあって

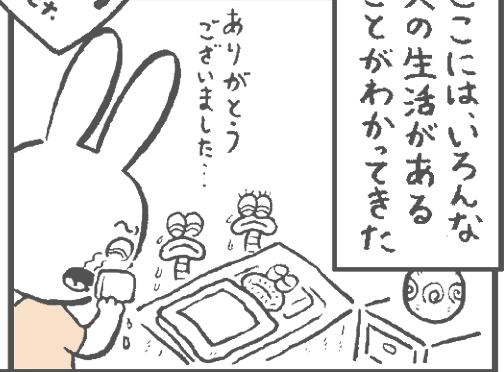


10月  
Oct.

ここにはいろんな  
人の生活がある  
ことがわかってきた



私もココで  
自分にてきることから  
やってみたい!!



ありがとうございます  
ございました...



あれ?  
キッチンがいつのま  
にかピカピカ!  
これは夢なんかな?!



え!!  
ありがとうございます  
ほんまに  
助かりま  
した!!



先にやこいてん  
初夜勤  
おつかれさま  
やで〜

行動指針 ②  
互いに支え合うこと

「もしも自分や家族、友だちだつたら……」と想像し、いつでもまわりの人の様子を気にかけて、助け合う姿勢を忘れずに。

任された仕事が終わらずに、ひとりで焦っていたヒツジさん。それを察した先輩のカメさんは、こっそり助け船を出してくれました。

困ったときはお互いさま。まわりに目を配ると、うまく進められずに困っていたり、ちょっとしたことで悩んで立ち止まっている人がいるかもしれませんが、そんなときはそっと手を差し伸べて、互いに協力し合いましょう。

そうした気配りや支え合う関係が、ケアの第一歩です。





休憩中  
なんでも話せる  
同期のネコさんと  
一緒にあったー

あ……ってことが  
あの時はめちゃくちゃ  
怖かったわ……

もし事故にでも  
遭っていたらと思うと  
気持ちはわかるけど  
遠出は無理やしなあ

……



え!? 本当に  
無理なの?

うん  
できるだけ  
入居者さんの気持ち  
を汲んだ方が  
いいんじゃない?!

え!?

でも安全を  
守るのも私たちの  
仕事やし



私だったら  
どこにいても  
やりたいこと  
できなくなるのは  
嫌やで

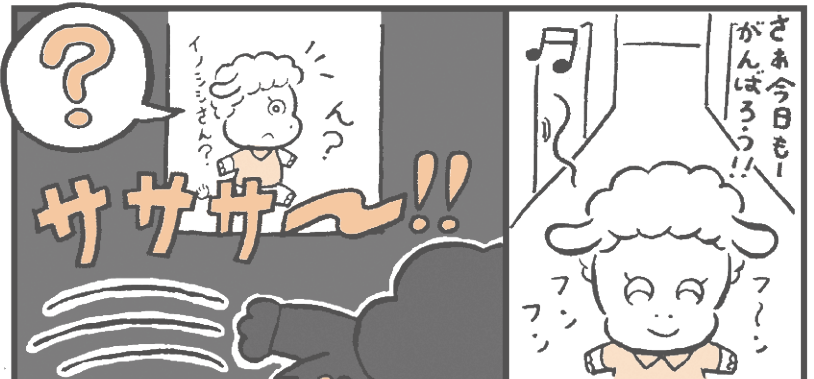
自分の居場所  
じゃないみたい!

入居者さんに  
とって何がベスト  
なんやろ〜?



じゃあ  
仕事に  
もどるね

ガチャッ

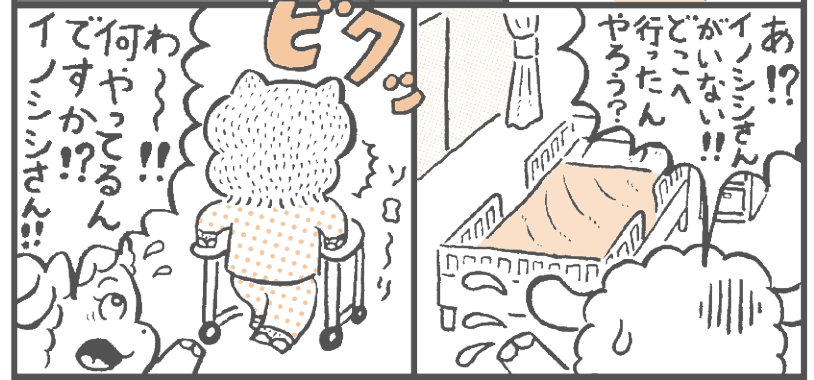


?

サササ〜!!

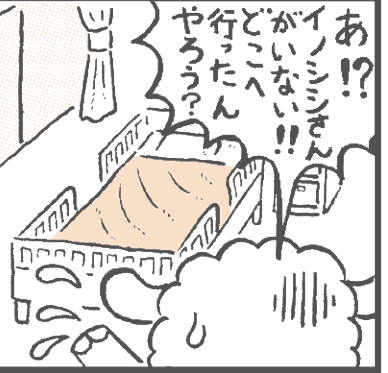


さあ今日も  
がんばろう!!

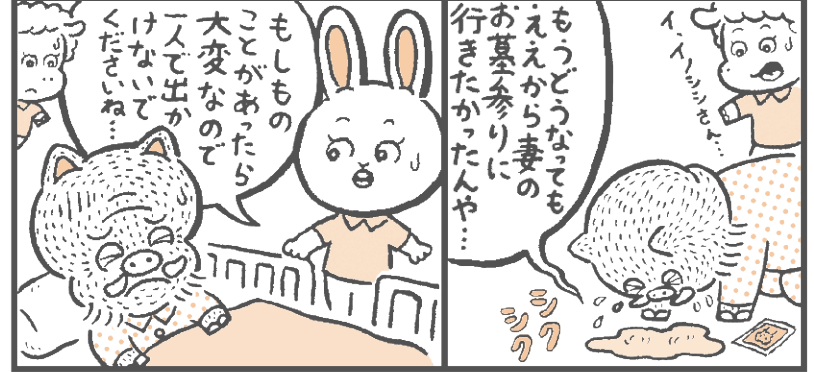


わわわ  
で何や  
ノシシさん!!

ビク



あ!?!  
イノシシさん  
がいない!!  
どこへ  
行ったん  
やろう?



もしもの  
ことがあったら  
大変なので  
一人で出か  
けないで  
くださいね……

もうどうなても  
ええから妻の  
お墓参りに  
行きたかったんや……



イノシシさん……

シクシク





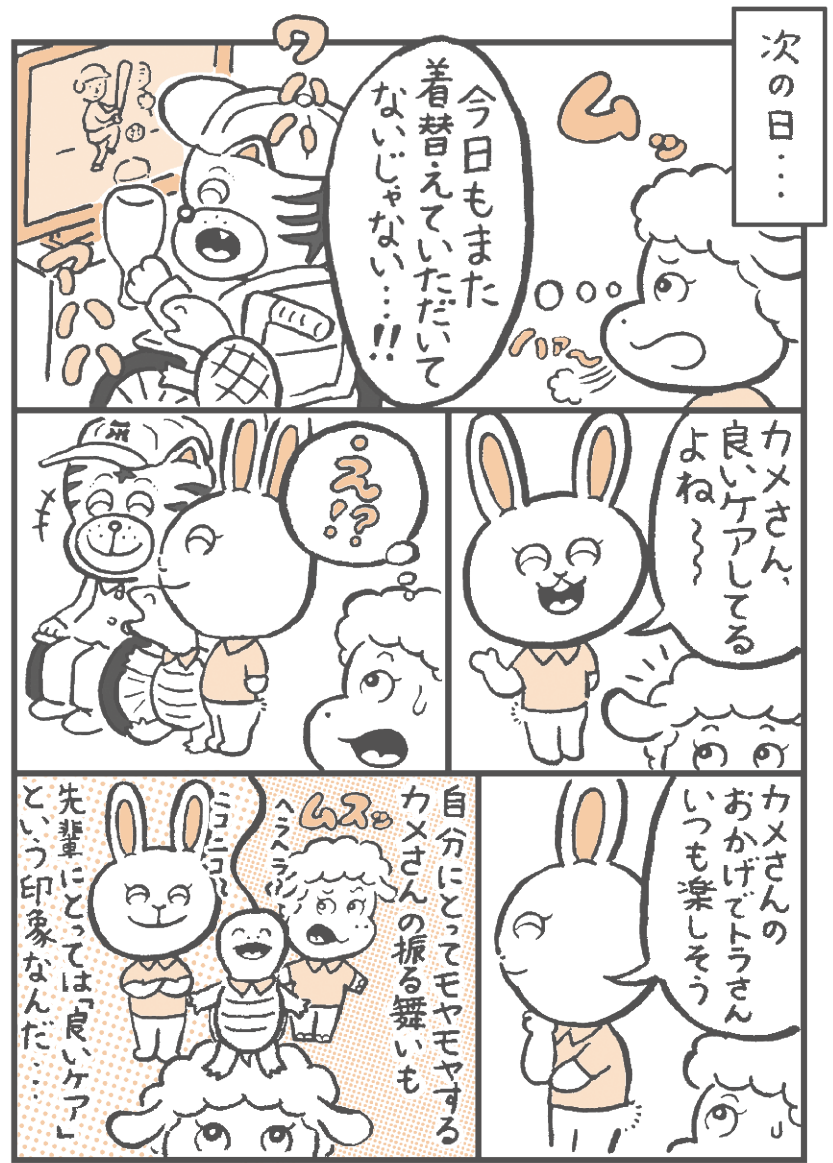
行動指針 ③

### 問い続けること

ミッション・ビジョン・バリューの実現に向けて、毎日の業務やルールにより良いかたちを、いつも問い続けていきましょう。

「どこにいても、やりたいことができなくなるのは嫌やで。自分の居場所じゃないみたい」。そんな同僚の言葉を聞いたヒツジさんは、入居者のイノシシさんにとって何がベストなのかと頭を悩ませます。

ミッション・ビジョン・バリューの実現のためには、通り一遍の答えはありません。常識やルールにとらわれずに、より良い方法をいつも問い続けましょう。



行動指針 4

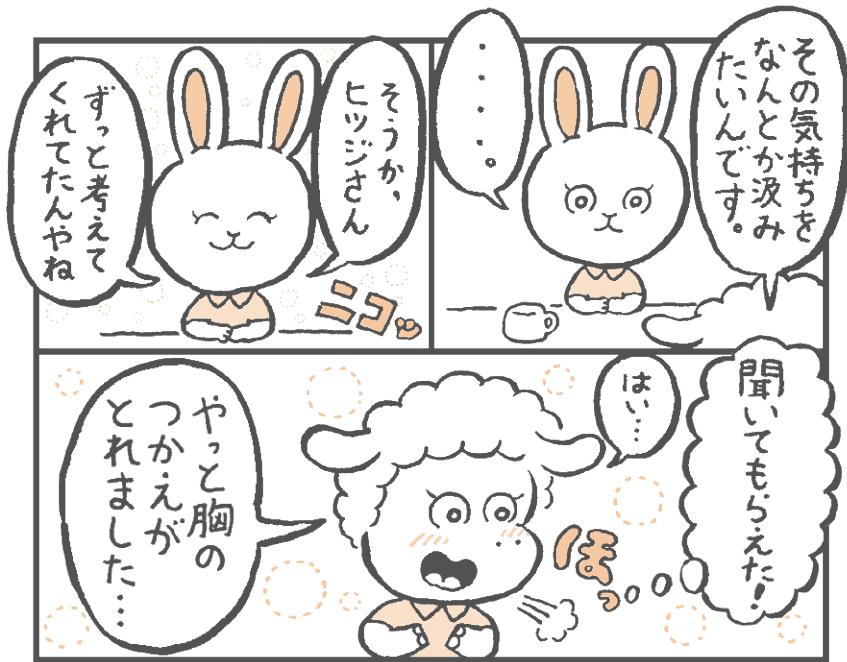
自分に気づくこと

日々の出来事や経験したことを、自分が大切にする価値観や信念、思い込みなど、今まで知らなかった自分について気づくための、学びの機会につなげましょう。

カメさんの仕事を見ると、なんだかモヤモヤしてしまうヒツジさん。でも、ウサギさんの言葉をきっかけに、自分の感情や仕事に対する考え方をかえりみるようになりました。

日々さまざまなことへの気配りが必要なケアの現場では、ふとイライラしたり、落ち込んだり、嬉しくなったりすることがあります。そうした自分の感情に気づき、「なぜそんな気持ちになったのかな」と考えることは、学びのチャンス。自分に気づくことは、周囲との関係や自分自身の成長につながっていきます。





行動指針 ⑤

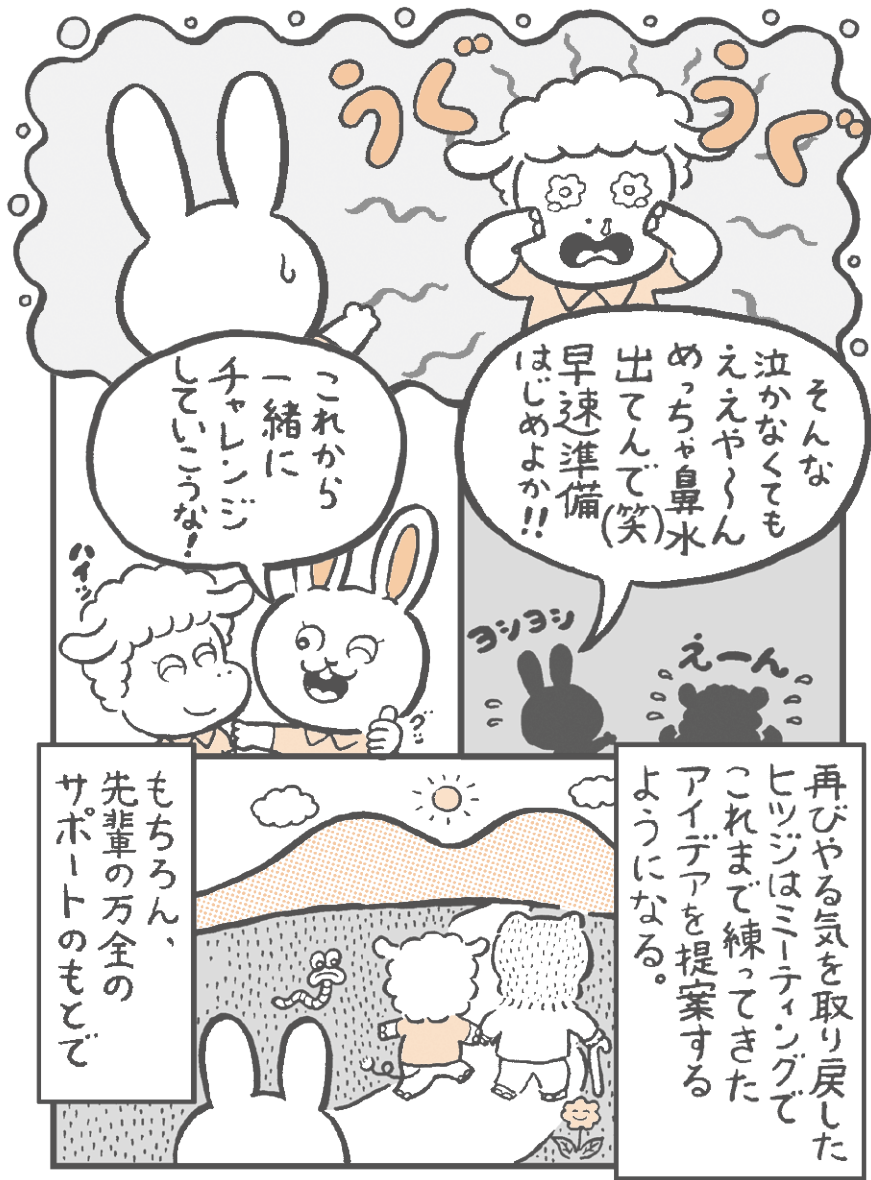
耳を傾けること

年齢や立場を問わず相手に関心を持ち、ありのままの言葉を受け取りましょう。相手を理解することを大切にして、想いを伝えやすい関係づくりを。

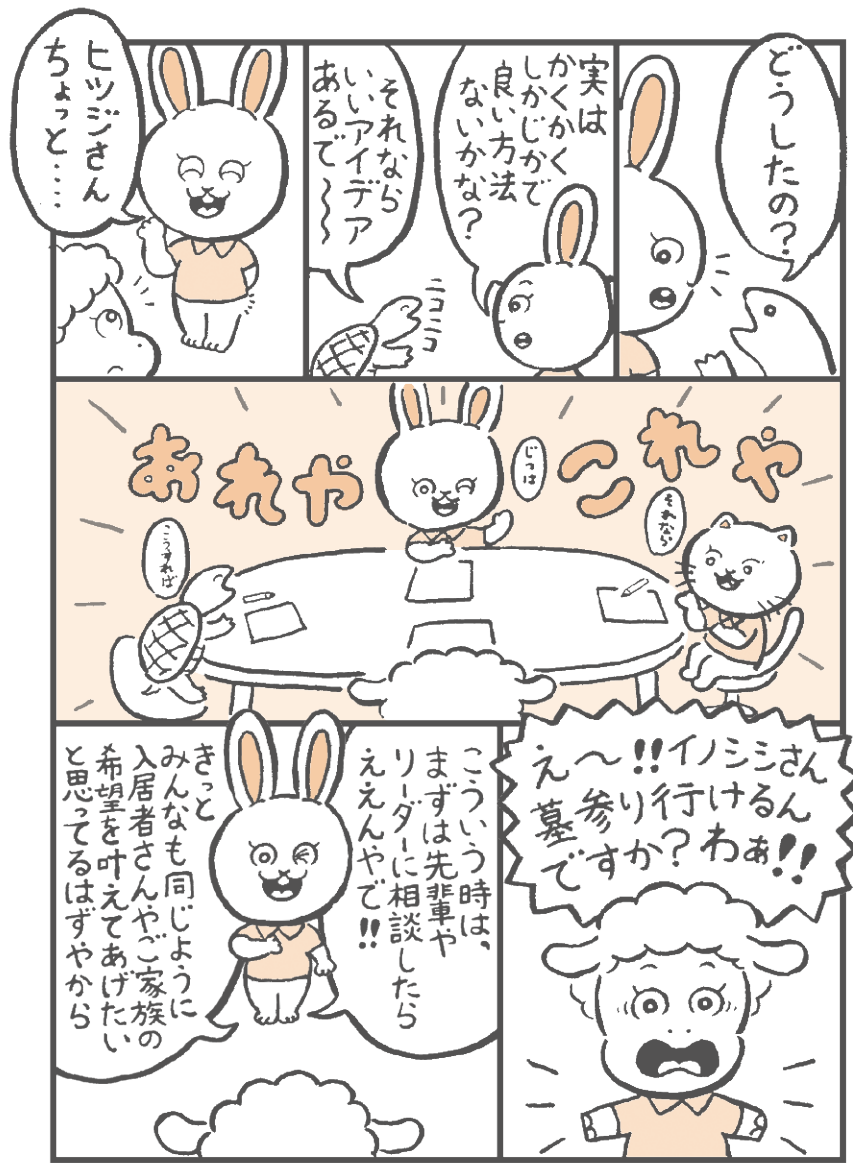
ヒツジさんの表情を見て、ただじつと話を聞いてくれたウサギさん。「怒られる」と思っていたヒツジさんですが、ウサギさんのおかげで自分の想いを言葉にすることができ、胸のつかえが取れたようです。

浪速松楓会では、立場や年齢などにかかわらず、互いに意見や想いを伝えることのできる職場を目指しています。そのためには、共感や良い悪いの評価でなく、まず相手の言葉を理解すること。ありのままを受け止める姿勢で、人の言葉に耳を傾けることを大切にしましょう。



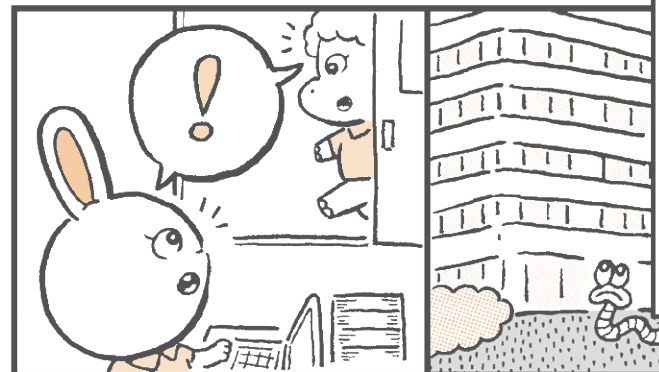


再びやる気を取り戻した  
ヒツジはミーティングで  
これまで練ってきた  
アイデアを提案する  
ようになる。





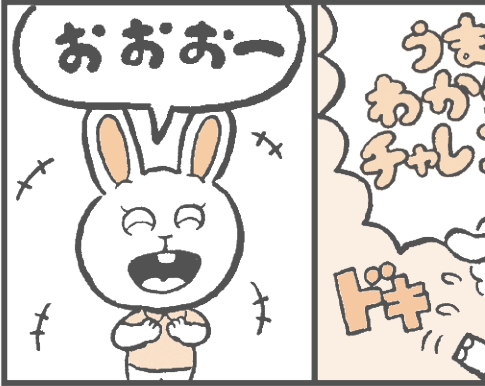
ヒツジが入社して  
3年が経とうと  
している



あ！  
ヒツジさん  
ちよと  
話が  
あるん  
やけど



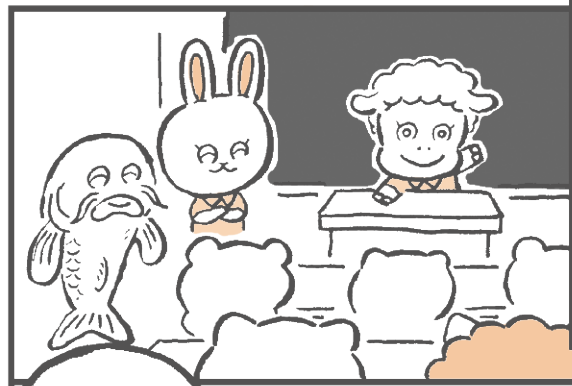
いつも  
ありがとう  
実は次の  
新人研修は  
ヒツジさんに  
お願いしたら  
どうかと話し  
てただけと  
どう？



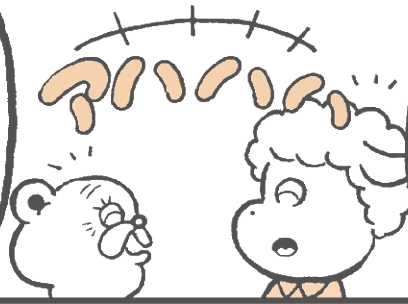
うまくできるか  
わからないけど  
チャレンジしてみます



今日は、新人研修の日  
新人たちの顔ぶれを  
見ながら、3年前の  
自分を重ね合わせて  
微笑ましく思う...



最近では現場に  
出るとこの3年で



仲良くなった  
入居者さんと  
ついつい話に  
花が咲く

行動指針 ⑥

失敗を恐れず  
チャレンジすること

はじめる前から「できない」と決  
めつけることなく、まずは挑戦。  
実践して、ときには失敗をしても、  
そこには学びがあります。

ウサギさんに話を聞いてもらった経験  
から、「なんでもチャレンジしてみよう！」  
と思えるようになったヒツジさんは、3年  
後には新人研修を担当するまでに成長  
していました。

チャレンジはとも勇気のいる  
ことでも、浪速松楓会には、  
いつも支え合える仲間がい  
ます。まずは実践すること、  
そして失敗することから学びを  
育み、みんなで成長できる環境を  
つくっていきましょう。





・ミッション  
・ビジョン  
・バリューを  
もって知ろう!



## ミッション・ビジョン・バリューとは？

ウサギ先輩、バリューはよくわかったけれど、ミッション・ビジョン・バリューって結局のところなんですか？



浪速松楓会のみんなが目指す目標のことやで。なぜここで働いているのか、どんな社会を実現しようとしているかを言葉にしたスローガンみたいなものやねん。



なるほど！ それぞれ、どんな違いがあるんですか？



こんな感じで、それぞれに役割があるんやで。

- MISSION** = 浪速松楓会が実現したいこと  
(組織が存在する理由)
- VISION** = 職場として目指すあり方
- バリュー** = 一人ひとりの行動指針

### おさらい 浪速松楓会のミッション・ビジョン・バリュー

**MISSION** 一人ひとりの居場所が生まれる毎日へ

**VISION** ありのままを認め合い、  
夢中になれることを応援する場所

- バリュー**
- 1 誠実であること
  - 2 互いに支え合うこと
  - 3 問い続けること
  - 4 自分に気づくこと
  - 5 耳を傾けること
  - 6 失敗を恐れず  
チャレンジすること

うーん、なんだか難しそうに見えますね。具体的には、どんな内容ですか？



それぞれには、こんな意味が込められてるんやで！

### MISSION

#### 一人ひとりの居場所が生まれる毎日へ

職場や家庭でささいな言葉・態度に傷つき、「自分の居場所がない」と感じてしまったことはありませんか？ 歳をとって、仕事や家族を失ったときも、そう感じるかもしれません。居場所はなくてはならないものなのに、すぐに生まれたり、なくなったりする不安定なものです。誰だって生きていくためには「自分の居場所」を感じる必要があります。私たち浪速松楓会は、利用者さんだけではなく、ご家族や職員、地域の方も「自分の居場所」を感じられる毎日を目指しています。



### VISION

#### ありのままを認め合い、 夢中になれることを応援する場所

浪速松楓会で働く一人ひとりが何かに夢中で取り組むためには、安心して働ける環境が必要です。「怒られるかもしれない」「自分なんか」と萎縮することなく、職員みんなが、感じたことや悩んでいること、弱みでさえも正直に受け止め、口に出すことができる。そんな状況が生まれることで、自分が次にチャレンジしたいことも見えてきます。浪速松楓会は、その実現を後押しできるような職場を目指していきます。



# ミッション・ビジョン・バリューって どう関連しているの？

それぞれの違いはわかったけれど、「居場所が生まれる毎日」を目指そう！  
と言われても、なんだか遠い話のようでピンとこないなあ。



せやね。でも自分たちの足元から、少しずつ実現していくために、ミッション・  
ビジョン・バリューの3つのステップがあるんですよ。



「居場所」を感じられるようなケアの仕方は、利用者さんそれぞれ。組織  
でどんなケアが良いか選択するとき、キーパーソンになるのは、利用者  
さんのことをよく知っている現場の職員やねん。職員がケアに前向きに  
関わり、感じたことをすぐ率直に周囲に共有できれば、利用者さんの  
「居場所」はより生まれやすくなる。そのために、現場の職員がありが  
のままに意見し、夢中になって仕事ができる環境が必要なんや。そして、  
その環境をつくるために、6つの行動指針がある。一人ひとりに合った  
ケアが、ミッションの達成につながるんですよ。

## ミッション

入居者さんやご家族、地域の方など、つながりの  
なかで実現していきたいのはどんな社会？

## ビジョン

ミッションを実現するために、浪速松楓会はどんな  
組織であればいいのだろう？

## バリュー

ビジョンに掲げた組織を実現するために、一人  
ひとりがどんな行動をするといいのだろう？



自分の毎日の行動が、組織や地域の方々につながって、ミッションを  
実現していくことになるんですね！



## バリュー

### 1 誠実であること

利用者さん、ご家族、地域の方々、  
ともに働く仲間たちなど、関わるす  
べての人や活動に対して誠実に向き  
合い、対応することで、互いに支え  
合える信頼関係を築きましょう。

### 2 互いに支え合うこと

困ったときはお互いさまです。もしも  
自分や家族、友だちだったら……と  
想像し、いつでもまわりの人の様子  
を気かけ、困っている人を見つけた  
ら助ける姿勢を忘れずに。

### 3 問い続けること

現場の「あたりまえ」とらわれず、  
浪速松楓会のミッション・ビジョン・  
バリューの実現に向け、毎日の業務や  
ルールのより良いかたちを常に問い  
続けていきましょう。

### 4 自分に気づくこと

自分に起きた体験を起点にして、自  
分が大切にしている価値観や無自覚  
であった信念・思い込みなど、自分  
の内面に気づき、それを学びにつな  
げていきましょう。

### 5 耳を傾けること

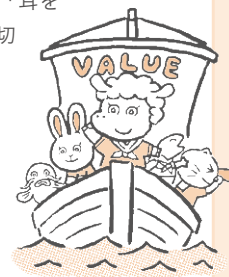
年齢や立場にかかわらず相手に関心  
をもち、ありのままの言葉を受け取る  
こと。同調や評価でなく、理解するこ  
とを大切に、意見や想いを伝え  
やすい関係を築きましょう。

### 6 失敗を恐れず チャレンジすること

はじめの前から「できない」と決め  
つけることなく、まずは挑戦して  
みましょう。実践して、ときには失  
敗をしても、そこから学びを育み、  
成長することを大切に。

## ビジョンの達成に向けた6つの行動指針

浪速松楓会が目指す「ありのままを認め合い、夢中になれる  
ことを応援する場所」を実現するには、まず相手の声に「耳を  
傾ける」ことで、互いに安心できる環境をつくるのが大切  
です。さらに、思い込みで判断することなく相手の声を  
聞くためには、「自分に気づく」ことも重要。内面を見  
つめ、自分の感情や判断基準に気づけば、「失敗を  
恐れずチャレンジすること」につながっていきます。  
それらを「誠実であること」「互いに支え合うこと」  
「問い続けること」が下支えしてくれるはずです。



## さいごに

最後までお読みいただき、ありがとうございます。『ふくしのヒツジさん』、楽しんでいただけましたでしょうか？

本書の制作は、2017年秋から2018年春にかけて有志の職員が中心となって、法人の目指す方向性や大切にしたい考え方をまとめ、ミッション・ビジョン・バリューの原型をつくることからはじまりました。「こんなん定めて、何になるん?」「忙しすぎて、意識するヒマないわ～」という声も耳にするなか、浪速松楓会で一緒にケアに向き合うみなさんとは、どうしても共有したい。そんな想いから、まるでラブレターをしたためるような気持ちで、取り組みははじめました。

あーでもないこーでもないと考えること、4年半。日々の業務に取り組む上で大切にしたい姿勢(＝バリュー)を詳しく楽しく伝える一冊ができました。読みながら、同僚、先輩、入居者さん、家族のこと、そして日々のケアでの自分のことを思い浮かべて、少し反省したり、やさしい気持ちになったり……。みなさんが明日も一歩を踏み出せるように、そっと背中を押すものになっていれば幸いです。

本書の作成にあたり、多くの方の協力と努力と知恵をいただきました。この場を借りて、深く感謝を申し上げます。

社会福祉法人浪速松楓会 業務執行理事  
鯉谷雅至



## この本の使い方

- ひとりで 入社後のミッション・ビジョン・バリューの学習に
- 同僚と 判断に迷ったときや、トラブルの解決に向けた打ち合わせの場で
- 後輩と 新人教育や研修会の場で、参考書として

発行日(初版): 2022年3月 発行元: 社会福祉法人 浪速松楓会  
企画監修: 社会福祉法人浪速松楓会(鯉谷雅至・倉窪聡子) 編集: MUESUM(多田智美・羽生千晶・妹尾実津季)  
デザイン: UMA/design farm(原田祐馬・岸木麻理子) 作画: 鈴木裕之



社会福祉法人

浪速松楓会